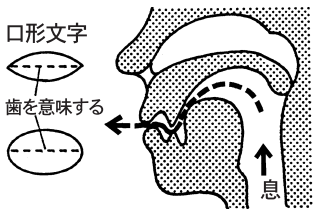


サ行の発音

サスセソの子音"s"は、呼気が上顎前歯の裏側の舌と歯茎の間に作られた隙間を通ったときに作られる無声の摩擦音である。強い呼気の流れが細い通路を通して歯の先端に当たるので笛を吹いたような冊音が発せられる。サスセソはその"s"の音とそれぞれの母音を一息に発音した音節



だ。発音しにくい音で、4歳から4歳半の頃に完成するのが標準である。

発音の指導では、発声よりも聴き分けの練習を優先させる。聴き分けができればいずれ発音ができるようになると考えてよい。言い直しをさせるなど子どもの言葉に直接さわって過敏にするのは禁物である。話す楽しさを損なうばかりか、仮性の吃音症状を生じることもある。子どもの言葉を受容した上で正しい発音で応答する。「おたるたんがいる」と言ったら「そうねえ、おさるさんがいるねえ」と返してあげる。

- 1) 絵の単語を発音させ、構音(発音)をチェック。「サ」が「夕」や「サ」に、「シ」が「子」に、「セ」が「テ」に、「ソ」が「ト」や「ソ」になることがある。
- 2) 正しい発音を聴かせ、復唱は無理のない範囲で。
- 3) 「サスセソ」の音列をくり返し言わせて、覚えさせる。

- a) カ行の構音チェックとカ行の音列習得を意図した課題。
- b) 「サスセソ」の"s"音と「シ」の"s"音は必ずしも舌先の摩擦音だけが原因。後者は「シ」や「ソ」の音と同様である。
- c) "s"は3歳台で、"sh"は4歳台で構音されるのが標準。
- d) 五十音の行を覚えることは、多様な課題の準備となる。

特定用具：不要

Date:

サシスセソに
「サシスセソ」って
いつてみよう。



はつきり、
げんきよく、
いえるかな。

 ソフト	 せみ	 すもも	 しんぶん	 さん
 ろうそく	 ふうせん	 くすり	 むしめあがね	 うさぎ
サシスセソ	 あせ	 ダンス	 ほし	 かさ